

総務省事業への共同提案が採択されました！ 自治体行政スマートプロジェクト

自治体行政スマートプロジェクトは、行政の様々な分野での業務プロセスを自治体間で比較し、AIやRPA等のICTを活用した標準的かつ効率的な業務プロセスを構築するものです。

モデル的に取り組む自治体を国が支援する事業で、市区町村モデルとして豊橋市が岡崎市及び群馬県内3市を含む5市の代表として共同提案し、採択されました。

このプロジェクトでは、効果的・効率的な事務処理を行うために同規模の自治体の中で最も良い業務プロセスに標準化していくとともに、ICTの共同導入のために、必要な範囲で業務プロセスを標準化することも視野に取り組みます。

① 実施自治体

対象	自治体名				
市区町村モデル	豊橋市（代表）	岡崎市	前橋市	高崎市	伊勢崎市

② 事業概要

税務業務において、業務に使用しているパソコンの操作記録（ログ）を用いて、現状の業務プロセスを見える化して自治体間で比較を行い、その結果に基づき、ICTを活用した業務プロセスを試作して効果測定を行います。なお、実施自治体は税システムにおいて共通のシステム（自治体クラウド）を使用しています。

【豊橋市・岡崎市】平成26年度より2市共同にて自治体クラウドを導入

【前橋市・高崎市・伊勢崎市】令和元年度より3市共同にて自治体クラウドを導入

③ 事業実施期間

令和3年2月26日まで

ポイント① 本事業は、共同提案した内容に対して国から委託されています。

ポイント② 本事業により構築された汎用性のある実践モデルは、国において全国の人口規模が同程度の自治体に展開を図ることが目的とされています。

※本事業は、6月市議会定例会の議決を得た場合に実施します